

# 平成23年度常陸大宮市子ども会育成連絡協議会事業報告

## 11月19日 常陸大宮市子ども会幹部研修会 ～茨城県立西山研修所～

来年度の子ども会を担う小学5年生59人を対象に、午前中は6班に分かれて飯ごう炊さんとカレーづくり、午後は様々なゲームをしました。あいにくの雨でしたが、参加した児童たちは天気になげず、元気いっぱいでした。「今日の経験を子ども会の仲間に教えたい」といった感想が多く寄せられました。これから子ども会のリーダーとして大いに活躍してください！



## 8月7日 子ども会球技大会 (ティーボール) ～大宮東部地区コミュニティセンターグラウンド～

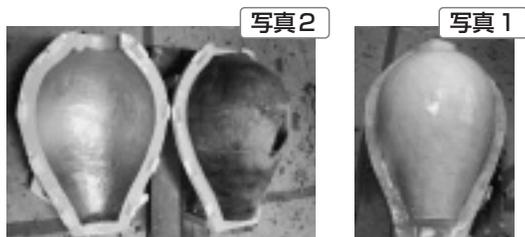
各小学校支部の代表13チームが出場しました。炎天下の大会となりましたが、各チームとも練習の成果を発揮し、好ゲームが展開されました。

優勝 上村田子ども会 (村田小学校支部)  
準優勝 若林子ども会 (大宮西小学校支部)  
第3位 北小連合 (大宮北小学校支部)



※この修復事業には(財)朝日新聞文化財団より助成を受けています  
写真提供・取材協力…府中工房 堀江武史氏

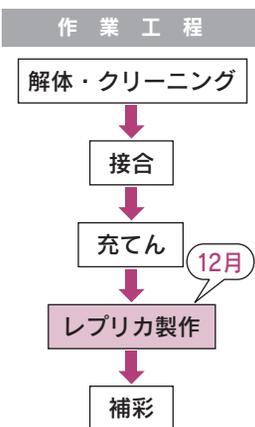
「いずみ」頭部の型取りに引き続き、胴部の型取りが行われました。土器の表面に厚さわずか5ミクロン(5/1000mm)の錫箔を密着させて表面を保護し、型となるシリコンを塗って(写真1)、補強のための石膏の外型をつけるのは頭部と同じです。しかし、日本で最も大きい人面付土器の胴部のこと、外型には約17kgもの石膏を必要としたそうです。



胴部の型も完成!

人面付土器  
「いずみ」  
修復中!  
⑤

歴史民俗資料館 ☎52-1450



さあ、今回は型の中からレプリカの「いずみ」が登場します。これまでの作業も、神経を使う細かい仕事の連続でしたが、これからはレプリカ作成のもう一つの山場、型では取れなかった微細な模様や傷を彫り込み、本物そっくりりに彩色するなどして、命を吹き込む仕事へと進んでいきます。お楽しみに!



これからの作業が腕の見せどころ



レプリカの成形はじまる

いよいよ、できあがった型に樹脂を注入!と思いきや、「流し込む」のではなく、筆で塗って行きます。胴部の内面は型取りできないので、厚さが5mm程になるよう均一に塗りまします。使用するのは安定性に優れたエポキシ樹脂ですが、硬化速度が大変遅く、20℃前後の室温だと36時間程度はかかるそうです。